平成30年度

編 入 学 生 募 集 要 項
入　　学　　案　　内

（Web版）

神戸市立工業高等専門学校
神戸市西区学園東町8丁目3番地（〒651-2194）
電話(078)795-3322（学生係）
ホームページ　http://www.kobe-kosen.ac.jp/

◆ 個人情報の取り扱いについて ◆

本校では、出願書類等に記載されている名前、性別、生年月日、住所その他の個人情報は、編入学選抜、合格発表及び入学手続き等を行うために利用します。

取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

神戸市立工業高等専門学校
編入学者受入方針（アドミッションポリシー）

神戸高専は、国際港都“神戸”に立地した神戸市立の唯一の工学系高等教育機関であるという視点に立ち、工学という学問の本質を深く教授し、技術者として必要な実践能力を養うだけでなく、心身の調和と国際性も身につけた技術者を育成することを目指しています。

神戸高専は未来の人材を求めています。機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学というそれぞれの専門性を活かしてより良い世界をデザインしていく、そんな学生に門戸を開いています。本校では、以下に示す求める学生像に合う学生を教育方針に従って育てます。また、入学試験は入学者選抜の基本方針に則って実施します。

求める学生像

- 工学に関する基礎知識を有し、各専門分野（機械工学、電気工学、電子工学、応用化学、都市工学）に強い関心を持っていること
- 論理的に考えることができ、実験や実習に興味を持っていること
- 理数系科目が得意なこと、外国語学習に関心があること

教育方針

本校の本科課程では、健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成することを目指します。

入学者選抜の基本方針

第４学年編入学者の選抜は、能力・適性において高等専門学校の教育を受けるにふさわしい資質を有する者を、次の方法によって公正に行います。

(1) 指定校制度による選抜
機械工学科、電気工学科は、本校への編入学実績のある高等学校と協定を結んでいます。高等学校から提出された調査書から推薦条件を満たしているかどうかを書類選考により判定し合格者を決定します。

(2) 学力検査による選抜
本校への入学意思が強く、将来技術者として活躍したいという志を有する者を対象とし、学力検査（英語、数学、物理・化学又は専門科目）の成績と、小論文、 面接、高等学校から提出された調査書の総合判定により選抜します。なお、都市工学科については、高等学校での成績優秀者に対して物理・化学又は専門科目の学力検査を実施せず、面接、調査書を重視する推薦選抜制度があります。

平成30年度　編入学生募集要項

Ⅰ　募集・出願

1　募　集　人　員

学　　科	募　集　人　員	編 入 学 年 次
機 械 工 学 科 ※1	各　科　若　干　名	4　　年　　次
電 気 工 学 科 ※1		
電 子 工 学 科		
応 用 化 学 科		
都 市 工 学 科	今年度は募集を行いません	

※1　機械工学科及び電気工学科では、指定校制度を導入しています。該当の高等学校には、連絡済です。

2　出　願　資　格

出願の際に兵庫県内に住所を有し、かつ、入学後も引き続き兵庫県内から通学する者で、高等学校あるいは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者。入学時(平成30年4月）に兵庫県内に住所を移す場合は、本校事務室学生係に問い合わせてください。

3　出　願　手　続

(1)　志願者の提出する書類について

ア　志願者の提出する書類等(入学選抜料の支払方法にご注意ください。)

① 編入学願書類	本校所定の用紙に必要事項を記入してください。
② 写　　真	出願前３か月以内に撮影した上半身・脱帽・正面向きのものを、編入学願書整理票(１枚）の定められたところに貼ってください。
③ 調　査　書	出身高等学校所定の用紙により、出身高等学校長が作成し、厳封してください（「調査書」と朱書きしてください）。 なお、卒業見込者については、学習の記録は第2学年まで、出欠の記録は平成29年6月30日までのものを記入してください。
④ 卒業証明書又は卒業見込証明書	出身高等学校所定の用紙により作成してください。
⑤ 推　薦　書	本校所定の用紙により出身高等学校長が作成し、厳封してください（「推薦書」と朱書きしてください）。
⑥ 編入学選抜料の振込	¥16,500 本校所定の振込み用紙に受検学科、名前を記入の上、願書提出までに銀行で振込んでください。 願書提出時に振込金受領書のコピーを必ず願書の裏に貼り付けてください。
⑦ 合否通知用封筒	選考結果を郵送により通知しますので、本校所定の封筒に、志願者の住所・名前・郵便番号を明記して、郵便切手672円分(第1種〔封書〕定形郵便物82円、簡易書留料310円及び速達料280円：平成29年4月現在）を貼ってください。
⑧ そ　の　他	出願書類を郵送する場合は、受検票を返送するため、住所・名前・郵便番号を明記して、郵便切手672円分(第1種〔封書〕定形郵便物82円、簡易書留料310円及び速達料280円：平成29年4月現在）を貼った封筒を同封してください。

イ　書類の提出方法・受付

志願者は、編入学願書類に調査書、卒業証明書又は卒業見込証明書、推薦書、返信用封筒及び選抜料を添え、出身高等学校長を経て、以下の要領で提出してください。

①　受　　付	平成29年7月3日(月)から7月7日(金)まで 郵送の場合は、必ず書留郵便にし、封筒に「編入学願書」と朱書きし、7月7日16時必着としますのでご注意ください。
②　時　　間	9時から11時30分、13時から16時まで
③　場　　所	神戸市立工業高等専門学校　事務室学生係 〒651-2194　神戸市西区学園東町8丁目3番地

4 注 意 事 項

(1)　編入志願者は、志願に際し在籍(出身）学校と十分に相談してください。

(2)　志願書類受理後は、記載事項の変更、書類の返還は行いません。

また、提出後に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても編入学を取り消すことがあります。

(3)　受検者は、学力検査当日(7月29日(土))の午前8時40分までに来校してください。

(持参する物:受検票、筆記用具、昼食)

(4)　その他の編入学検査については、本校事務室学生係に問い合わせてください。

Ⅱ　選考・合格発表

1　編入学者選抜

編入学者の選抜（全科）は、学力検査、調査書、面接を総合して行います。

(1)　学力検査科目

志望学科	検査科目	出題範囲
各学科共通	小論文	
	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ
	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数学Aについては、場合の数と確率、数学Bについては、数列・ベクトルの範囲とする）
機械工学科	①　物理	物理基礎・物理
	②　専門科目	機械設計・機械工作
電気工学科	①　物理	物理基礎・物理
	②　専門科目	電気基礎・電子回路
電子工学科	①　物理	物理基礎・物理
	②　専門科目	電気基礎・電子回路・電子情報技術
応用化学科	①　化学	化学基礎・化学
	②　専門科目	工業化学・化学工学

※ ①又は②のいずれかを選択して受検すること。

(2)　各科目等の配点

科目等	英　語	数　学	物理・化学又は専門科目	小論文	面　接	調査書
配　点	100	100	100	50	50	50
総配点	450					

(3)　学力検査及び面接の日時

	集　合	小　論　文	英　　語	数　　学	物理・化学又は専門科目	面　　接
7月29日(土)	8:40	9:00 ～ 9:50 (50分)	10:00 ～ 11:00 (60分)	11:10 ～ 12:10 (60分)	13:00 ～ 14:30 (90分)	14:50 ～

※　学力検査開始30分経過後の受検は認めません。

(4)　検査会場　　神戸市立工業高等専門学校

2 合格発表

平成29年8月3日(木)午前10時に本校に掲示します。また、本人及び出身高等学校等に文書で通知します。なお、電話等による問い合わせには応じません。

※ 合格者の在籍（出身）学校長は、健康診断票、指導要録抄本を平成30年3月23日（金）までに本校へ提出して下さい。

3 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成29年8月17日(木)までに、入学確約書を提出すること。提出がない場合は、本校に入学する意思がないものとして取り扱います。

4 入学手続

合格者に別途通知します。

5 その他

入試の成績開示について

本校では、受検者全員を対象に、入試成績の閲覧を希望するものには、下記の内容を開示しますので、平成29年8月4日(金)から平成29年9月1日(金)の間（8月18日(金)～8月22日(火)は除く）の平日に本校受検票・生徒証（身分を証明するもの）を神戸市立工業高等専門学校学生係へ提示してください。
(開示は本人のみです)

◇　開示する入試の成績(情報内容)

a.　「受検者本人の総得点」

b.　「受検された学科の合格者の総得点の最高点、平均点、最低点」

◇　開示請求先：〒651-2194　神戸市西区学園東町8丁目3番地
神戸市立工業高等専門学校　学生係（TEL：(078) 795-3322）

編 入 学 案 内

1　創　　立

昭和38年4月1日

2　本校の使命

本校は、 学校教育法の定める高等専門学校として、 深く専門の学芸を教授し、 職業に必要な能力を育成すること、 並びにその教育、 研究機能を活用して国際港都神戸の産業及び文化の発展向上に寄与することを使命とする。

3　教育方針

■　**人間性豊かな教育**

心身の調和のとれた、 たくましい感性豊かな人間形成をめざして、 教養教育の充実をはかるとともに、スポーツ・文化クラブ等の課外活動を振興する。

■　**基礎学力の充実と深い専門性を培う教育**

工学に関する基礎知識と専門知識を身につけ、 日進月歩する科学技術に対応し、 社会に貢献できる実践的かつ創造的人材を育成する。

■　**国際性を育てる教育**

国際・情報都市神戸にふさわしい高専として、 世界的視野を持った、 国際社会で活躍できる人材を育成する。

4　養成すべき人材像(準学士課程:5年間)

健康な心身と豊かな教養のもと、工学に関する基礎的な知識を身につけると同時に、創造性も合わせ持つ国際性、問題解決能力を有する実践的技術者を養成する。

■　**機械工学科**　数学、自然科学、情報処理技術、計測技術、電気電子技術、加工技術、設計法等の基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持つ柔軟な思考を有し、設計や製作ができる実践的技術者を養成する。

■　**電気工学科**　数学、自然科学、情報処理技術、電磁気学、電気回路、実験等により基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

■　**電子工学科**　数学、自然科学、情報処理技術、エレクトロニクスの基礎技術を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち、多種多様な課題を解決できる実践的技術者を養成する。

■　**応用化学科**　数学、自然科学、情報処理技術に加え、物質の基本を理解し、新しい物質作りに応用できる基礎学力を習得し、豊かな一般教養のもと、創造性も合わせ持ち柔軟な思考ができる実践的技術者を養成する。

■　**都市工学科**　数学、自然科学、情報処理技術、構造力学、水理学、土質力学、計画、環境に関する科目に重点をおき、豊かな一般教養のもと、自然や人間に優しい生活環境をデザインするための総合的な技術力、判断力、創造性を合わせ持つ実践的技術者を養成する。

5　卒業時に身につけるべき学力や資質・能力(準学士課程の学習・教育目標)

(A) 工学に関する基礎知識を身につける。

(A1) **数　　学**　工学的諸問題に対処する際に必要な数学の基礎知識を身につけ、 問題を解くことができる。

(A2) **自然科学**　工学的諸問題に対処する際に必要な自然科学に関する基礎知識を身につけ、 問題を解くことができる。

(A3) **情報技術**　工学的諸問題に対処する際に必要な情報に関する基礎知識を身につけ、 活用することができる。

(A4) **専門分野**　各学科の専門分野における工学の基礎知識・基礎技術を身につけ、 活用することができる。

(B) コミュニケーションの基礎的能力を身につける。

(B1) 論理的説明　自分の意図する内容を文章及び口頭で相手に適切に伝えることができる。

(B2) 質疑応答　自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

(B3) 日常英語　日常的な話題に関する平易な英語の文章を読み、 聞いて、 その内容を理解することができる。

(B4) 技術英語　英語で書かれた平易な技術的文章の内容を理解し、 日本語で説明することができる。

(C) 複合的な視点で問題を解決する基礎的能力や実践力を身につける。

(C1) 応用･解析　工学的基礎知識を工学的諸問題に応用して、 得られた結果を的確に解析することができる。

(C2) 複合･解決　与えられた課題に対して、 工学的基礎知識を応用し、 かつ情報を収集して戦略を立て、解決できる。

(C3) 体力･教養　技術者として活動するために必要な体力や一般教養の基礎を身につける。

(C4) 協調･報告　与えられた実験テーマに対してグループで協調して挑み、 期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D) 地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1) 技術者倫理　工学技術が社会や自然に与える影響及び技術者が負う倫理的責任を理解することができる。

(D2) 異文化理解　異文化を理解し、多面的に物事を考えることができる。

6　編入後の教育課程

各学科共通の一般科目と各学科別の専門科目に分かれ、その授業科目はおおむね下表のとおりです。

<table>
<tr><td>一般科目</td><td>各科共通</td><td colspan="2">国語、保健・体育､英語演習､国際コミュニケーション､確率統計､人文社会系科目のうち1科目選択（哲学、日本史、世界史、社会科学特講、人文科学特講、経済学）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">専門科目</td><td rowspan="2">機械工学科</td><td>設計システムコース</td><td>応用数学ⅠA、応用数学ⅠB、応用数学Ⅱ、応用物理、材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ、工業熱力学、流体工学、機械力学Ⅰ、機械力学Ⅱ、情報処理、計測工学、機械工学実験、電子工学概論、工業英語、卒業研究、自動制御、生産工学、工作機械、応用機械設計、設計製図、学外実習、エネルギー変換工学、精密加工学、材料力学特論、環境工学、ロボット工学、数値計算法</td></tr>
<tr><td>システム制御コース</td><td>応用数学ⅠA、応用数学ⅠB、応用数学Ⅱ、応用物理、材料力学Ⅰ、材料力学Ⅱ、工業熱力学、流体工学、機械力学Ⅰ、機械力学Ⅱ、情報処理、計測工学、機械工学実験、電子工学概論、工業英語、卒業研究、自動制御、生産システム、線形システム理論、情報工学、制御機器、応用計測、設計製図、学外実習、エネルギー変換工学、精密加工学、材料力学特論、環境工学、ロボット工学、数値計算法</td></tr>
<tr><td>電気工学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理、電気磁気学Ⅲ、電気磁気学Ⅳ、半導体工学、電気回路Ⅲ、電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ、制御工学、数値解析、電気材料、電力工学Ⅱ、電気機器Ⅰ、電気機器Ⅱ、電気機器Ⅲ、パワーエレクトロニクス、電気工学実験実習、卒業研究、工業英語Ⅱ、放電現象、電気法規及び電気施設管理、学外実習、通信工学Ⅰ、通信工学Ⅱ</td></tr>
<tr><td>電子工学科</td><td colspan="2">応用数学、応用物理、ソフトウェア工学、数値解析、電気磁気学Ⅱ、半導体工学、電気回路Ⅲ、電子計測、電子回路Ⅰ、電子回路Ⅱ、通信方式、情報通信ネットワーク、情報理論、制御工学Ⅰ、制御工学Ⅱ、電子工学実験実習、卒業研究、学外実習、工業英語、電子応用、光エレクトロニクス、画像処理、コンピュータアーキテクチャ</td></tr>
<tr><td>応用化学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理Ⅱ、情報処理Ⅱ、応用無機化学Ⅰ、応用有機化学Ⅰ、有機合成化学、高分子化学、材料化学、物理化学Ⅰ、物理化学Ⅱ、学外実習、化学工学Ⅱ、化学工学量論、生物工学、生物化学Ⅰ、品質管理、プロセス設計、化学英語、機械工学概論、電気工学概論、応用化学実験Ⅲ、応用有機化学Ⅱ、応用無機化学Ⅱ、エネルギー工学、環境化学、生物化学Ⅱ、卒業研究</td></tr>
<tr><td>都市工学科</td><td colspan="2">応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用物理、環境生態、構造力学Ⅲ、構造力学Ⅳ、水理学、土質力学Ⅱ、土質力学Ⅲ、コンクリート工学、施工管理学、橋梁工学、建築計画、情報数値解析、土木計画Ⅰ、測量学、都市環境工学Ⅰ、都市環境工学Ⅱ、環境水工学Ⅰ、環境水工学Ⅱ、都市交通計画学、土木・建築設計製図Ⅲ、土木・建築設計製図Ⅳ、工業英語、環境基礎化学、都市工学実験実習、卒業研究、学外実習、建設都市法規、都市情報工学、環境経営学、防災工学、景観工学、応用CAD、建築施工学</td></tr>
</table>

7　認定教育プログラム（都市工学専攻）

本校専攻科では高専4、5年の課程と合わせた教育プログラムが2006年5月に日本技術者教育認定機構（JABEE）から認定されました（現在は、都市工学専攻のみ（2016年継続審査認定済））。

JABEE認定教育プログラムを修了すると、国際的に通用する技術者としての実力が保証され、将来の就職等で有利になると考えられます。

学習・教育目標は次のとおりです。

学習・教育目標（専攻科課程（2年間）修了時に身につけるべき学力や資質・能力）

(A) 工学に関する基礎知識と専門知識を身につける。

(A1) **数　　学**　工学的諸問題に対処する際に必要な線形代数、 微分方程式、 ベクトル解析、 確率統計などの数学に関する知識を身につけ、 問題を解くことができる。

(A2) **自然科学**　工学的諸問題に対処する際に必要な力学、 電磁気学、 熱力学などの自然科学に関する知識を身につけ、 問題を解くことができる。

(A3) **情報技術**　工学的諸問題に対処する際に必要な情報技術に関する知識を身につけ、活用することができる。

(A4) **専門分野**　各専攻分野における工学基礎と専門分野の知識・技術を身につけ、 活用することができる。

(B) コミュニケーション能力を身につける。

(B1) **論理的説明**　技術的な内容について、 図、 表を用い、 文章及び口頭で論理的に説明することができる。

(B2) **質疑応答**　自分自身の発表に対する質疑に適切に応答することができる。

(B3) **日常英語**　日常的な話題に関する英語の文章を読み、 聞いて、 その内容を理解することができる。

(B4) **技術英語**　英語で書かれた技術的・学術的論文の内容を理解し、日本語で説明することができる。また、特別研究等の研究に関する概要を英語で記述することができる。

(C) 複合的な視点で問題を解決する能力や実践力を身につける。

(C1) **応用･解析**　工学基礎や専門分野の知識を工学的諸問題に応用して、 得られた結果を的確に解析することができる。

(C2) **複合･解決**　与えられた課題に対して、 工学基礎や専門分野の知識を応用し、 かつ情報を収集して戦略を立てることができる。また、 複合的な知識・技術・手法を用いてデザインし工学的諸問題を解決することができる。

(C3) **体力･教養**　技術者として活動するために必要な体力や一般教養を身につける。

(C4) **協調･報告**　特定の問題に対してグループで協議して挑み、 期日内に解決して報告書を書くことができる。

(D) 地球的視点と技術者倫理を身につける。

(D1) **技術者倫理**　工学技術が社会や自然に与える影響を理解し、 また、 技術者が負う倫理的責任を自覚し、 自己の倫理観を説明することができる。

(D2) **異文化理解**　異文化を理解し、 多面的に物事を考え、 自分の意見を説明することができる。

8　校地、校舎

所在地　神戸市西区学園東町8丁目3番地

校　地　85,478 m^2

校　舎　鉄筋コンクリート1階～6階建　延28,675 m^2

（本校には、寮施設はありません。）

9　必 要 経 費

種　　別	金　　額	備　　考
授　業　料	月　19,550 円	年額 234,600 円 2期分納
諸　会　費	月　約 2,000 円	詳細は編入学後にお知らせします。
入　学　金	84,600 円	ただし、神戸市民は 28,200 円
教科書、教材教具等	50,000～60,000 円ぐらいの見込み。	学科により異なります。

（注）研修旅行の経費等については、実費を別途納付していただきます。

（参考：平成29年度4学年研修旅行は、年額 84,000 円、2期分納です。）

10　奨　学　金

奨学金は、学業人物共にすぐれ、かつ学資の支弁が困難と認められる者に対して、選考のうえ、一定額の資金が貸与または給付される制度です。

① 日本学生支援機構第1種奨学金(貸与)

・自宅通学者　30,000円　または　45,000円　　・自宅外通学者　　30,000円　または　51,000円

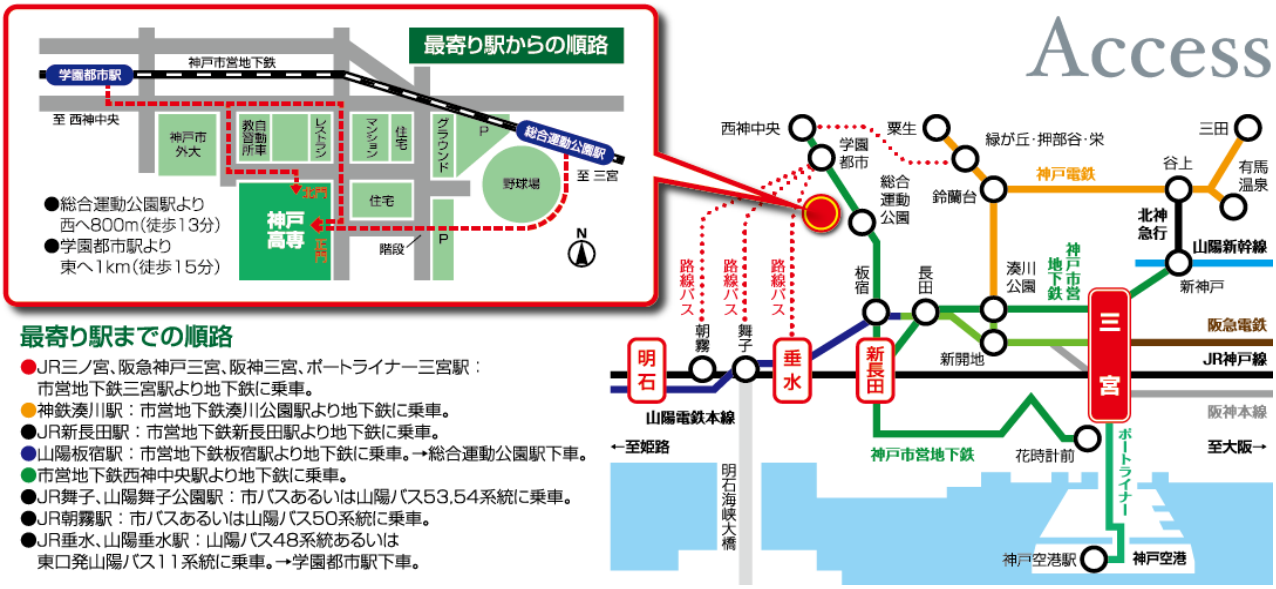
② 同　　上　　第2種奨学金(有利子貸与)

30,000円　・　50,000円　・　80,000円　・　100,000円　・　120,000円の中から選択する。

(金額はいずれも平成29年度4学年の現行月額です。)

その他にも各種の奨学金制度があります。又、授業料の減額・免除の制度もあります。くわしくは、本校事務室へ問い合わせてください。

交通機関案内図



最寄り駅までの順路

●JR三ノ宮、阪急神戸三宮、阪神三宮、ポートライナー三宮駅：
市営地下鉄三宮駅より地下鉄に乗車。
●神鉄湊川駅：市営地下鉄湊川公園駅より地下鉄に乗車。
●JR新長田駅：市営地下鉄新長田駅より地下鉄に乗車。
●山陽板宿駅：市営地下鉄板宿駅より地下鉄に乗車。→総合運動公園駅下車。
●市営地下鉄西神中央駅より地下鉄に乗車。
●JR舞子、山陽舞子公園駅：市バスあるいは山陽バス53,54系統に乗車。
●JR朝霧駅：市バスあるいは山陽バス50系統に乗車。
●JR垂水、山陽垂水駅：山陽バス48系統あるいは
東口発山陽バス11系統に乗車。→学園都市駅下車。

神戸市立工業高等専門学校
〒651-2194　神戸市西区学園東町8丁目3番地
TEL：(078)　795－3322
FAX：(078)　795－3314

UNESCO United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
City of Design KOBE
Member of the UNESCO Creative Cities Network since 2008
リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
R70 古紙パルプ配合率70％再生紙を使用

神戸市広報印刷物登録　平成29年度第91号（A-1）
神戸高専編入学生募集要項